

平成7年度 (1995年)

1月に行われた第3回地球ユース選手権・男子団体において日本が初優勝を達成した。優勝当時は高校生であった主力メンバーもいたが、彼らも4月以降は大学生として関東学連に加盟している。

5月に中国・天津において行われた第43回世界選手権には、本連盟より、田崎俊雄・遊澤亮（共に明大）の2名が出場した（この他にリザーブとして、野平直孝、大柿柴保（共に専大）が選抜されている）。なおこの大会で地元中国が大活躍。欧州勢から男子種目のタイトルも取り戻し、結局、史上2度目の7種目完全制覇を達成した。

この年は、大正大と専大が春秋のリーグ戦で男女を入れ替えて優勝（大正大は、春の男子と秋の女子。専大は、春の女子と秋の男子）。インカレ男子は、選手層の厚さよりも頂点の高さを誇る明大が2年ぶりに制した。インカレ女子は、12年連続ベスト4以上に入っていた青学大が予選リーグで予想外の敗戦を喫し、決勝トーナメント1回戦で前年の決勝と同じ顔合わせで中大に敗れる波乱などもあり、ベスト4に関東から専大1校しか残らず、結局、14年ぶりに近畿大が優勝。女子で関東以外から優勝チームが出たことも、同じく14年ぶりであった。

団体では大会毎に優勝校が変わる混戦であったが、個人戦では特筆される強さの選手も出た。

男子では、明大のエース・田崎が強く、秋季リーグ戦では仲村（大正大）の連勝を17で止める勝ち星を含む5戦全勝（なお、リーグ戦連勝記録は斉藤清（明大）の23連勝）。さらに、全日学においては単複を制した。これは明大の先輩にあたる斉藤清以来（昭和58年以来）12年ぶりのこと。また、インカレとも併せて「学生界の3冠王」となったのは、同じく斉藤清以来（昭和57年以来）13年ぶりのことであった。田崎は、これまで大学以前も含めて、シングルの全国タイトルがなく、実力は認められながらも「無冠の帝王」の扱いを受けていたが、これで一躍、名実共に学生界の頂点に立った。この勢いを持続し、全日学直後に行われた五輪・国内予選でも堂々の1位通過を果たし、全日本でも3位入賞と、誰もが認める日本のトップ選手となった（なお、五輪・国内予選の2位は、田崎のダブルスパートナーでもある遊澤）。

女子では、元中国代表、世界選手権・単ベスト8・複3位の実績を持つ李隽（淑徳短大）が他を寄せつけない圧倒的な強さを発揮し、関東学生と全日学の単を制した。李は登録年齢制限（28歳）の関係で、この年のみの登録であった。

女子ダブルスでは、大柿・益田組（専大）が関東学生と全日学を制した。また、大柿は全日本もパートナーを河野文江（武田薬品湘南）に替えて制し、この年の国内全ての女子ダブルスタイトルを獲得した（全日本の混合複でも、野平（専大）とのペアで決勝に進出したが、鬼頭・西飯組（愛工大）に敗れた）。

その他、11月には男女の強化練習会、ツンストレム（元スウェーデンナショナルチーム男子監督）講習会と対GCC海外交流試合が、12月にはフィンランド遠征（フィンランドオープン参加）が行われた。

運営面では、日本学生卓球連盟会長・清水齊氏（中央大OB）の会長退任により、副会長の後藤淳氏（東海学生卓球連盟会長）が新会長となった。清水氏は、17年の永きに渡り、日学連会長の重責を担い、その功績から日学連名誉会長に就任することとなった。また、本連盟の佐藤行信会長が、荻村氏死去後の日卓協内の改革の影響もあり、(株)日本卓球協会副会長を兼任することとなった。

関東学生新人選手権大会…大正大勢、2年連続で男女単を獲得

男子シングルス

準決勝

三原孝博(大正大) 2(17,-11,20) 1 綾 良仁(青学大)
佐藤利明(専大) 2(12,19) 0 渡辺将人(早大)

決勝

三原孝博(大正大) 2(21,-18,14) 1 佐藤利明(専大)

男子ダブルス

準決勝

佐藤利明(専大) 2(15,15) 0 石山義浩(中大)
工藤一寛(明大) 2(15,15) 0 大貫謙司(中大)

倉嶋洋介(明大) 2(19,15) 0 宮城 力(埼工大)
神 健介(明大) 2(19,15) 0 竹本 寛(埼工大)

決勝

佐藤利明(専大) 2(20,17) 0 倉嶋洋介(明大)
工藤一寛(明大) 2(20,17) 0 神 健介(明大)

関東学生選手権大会…男子単は世界選手権経験者が4強を占める。女子単は外国人留学生が4強に3人。ダブルスは男女とも専大が制する。

男子シングルス

準々決勝

仲村錦治郎(大正大) 3(13,-19,17,-22,22) 2 倉嶋洋介(明大)
田崎 俊雄(明大) 3(14,-14,-17,19,13) 2 渡辺将人(早大)
遊澤 亮(明大) 3(15,9,16) 0 周 暉(埼工大)
増田 秀文(専大) 3(10,11,12) 0 佐藤利明(専大)

準決勝

仲村錦治郎(大正大) 3(15,17,14) 0 田崎俊雄(明大)
遊澤 亮(明大) 3(11,-10,19,18) 1 増田秀文(専大)

決勝

仲村錦治郎(大正大) 3(15,19,-10,17) 1 遊澤 亮(明大)
(仲村は初優勝)

男子ダブルス

準決勝

増田秀文(専大) 2(16,-18,15) 1 田崎俊雄(明大)
野平直孝(明大) 2(16,-18,15) 1 遊澤 亮(明大)

村上裕和(専大) 2(10,14) 0 松下英司(早大)
佐藤利明(専大) 2(10,14) 0 本多輝行(早大)

決勝

増田秀文(専大) 2(16,15) 0 村上裕和(専大)
野平直孝(専大) 2(16,15) 0 佐藤利明(専大)

(増田・野平組は初優勝)

春季リーグ戦…仲村、単で無敗の14連勝中 新人・益田は単5戦全勝で優勝の立て役者に

男子1部

大正大 4 - 3 専修大
1 ○仲村錦治郎 2(10,19) 0 佐藤利明
2 三原 孝博 0(-14,-13) 2 村上裕和 ○
3 張 漢 0(-15,-19) 2 野平直孝 ○
4 ○渡辺 敬文 2(19,18) 0 (増田秀文
仲村錦治郎) 村上裕和
5 木村 晃一 1(17,-17,-12) 2 立藤伸二 ○
6 ○渡辺 敬文 2(-17,18,19) 1 増田秀文
7 ○馬場 健一 2(18,15) 0 青木和弘
(大正大は8季ぶり3回目の優勝)

女子1部

専修大 4 - 2 大正大
1 ○大柿 柴保 2(13,-17,20) 1 鎮西みどり
2 岡田 晶子 0(-17,-11) 2 蘇 迎学 ○
3 ○大柿 柴保 2(14,18) 0 (塩見亜矢子
益田 誌保) 鎮西みどり
4 久保 光恵 0(-7,-19) 2 塩見亜矢子 ○
5 ○久保 光恵 2(12,14) 0 (鎮西ひろみ
岡田 晶子) 塩打 律子
6 ○益田 誌保 2(-15,19,15) 1 鎮西ひろみ
7 大亀さくら 福田 正美
(専修大は3季ぶり34回目の優勝)

入替戦

男子・筑波大(2部) 4-3 日本体育大(1部)
女子・中央大(1部) 4-2 日本 大(2部)

女子シングルス

準決勝

陳 媛(大正大) 2(9,11) 0 吉野 友子(富士短大)
米倉知子(筑波大) 2(-19,11,12) 1 山川加奈子(日大)

決勝

陳 媛(大正大) 2(16,19) 0 米倉 知子(筑波大)

女子ダブルス

準決勝

高橋 良美(淑徳短大) 2(12,16) 0 久保 光恵(専大)
今井美智子(淑徳短大) 2(12,16) 0 岡田 晶子(専大)

池田 智美(富士短大) 2(11,-20,19) 1 益田 誌保(専大)
柳川あかり(富士短大) 2(11,-20,19) 1 益田 誌保(専大)

決勝

高橋 良美(淑徳短大) 2(15,-19,15) 1 池田 智美(富士短大)
今井美智子(淑徳短大) 2(15,-19,15) 1 柳川あかり(富士短大)

女子シングルス

準々決勝

李 隽(淑徳短大) 3(12,11,12) 0 井上 真樹(専大)
米倉知子(筑波大) 3(14,10,-21,13) 1 大島 美絵(中大)
蘇 迎学(大正大) 3(11,18,13) 0 李 泰熙(日体大)
陳 媛(大正大) 3(16,17,9) 0 浜田華奈子(中大)

準決勝

李 隽(淑徳短大) 3(19,-13,11,10) 1 米倉 知子(筑波大)
蘇 迎学(大正大) 3(19,-20,19,8) 1 陳 媛(大正大)

決勝

李 隽(淑徳短大) 3(17,8,8) 0 蘇 迎学(大正大)
(李は初優勝)

女子ダブルス

準決勝

大柿柴保(専大) 2(15,19) 0 塩見亜矢子(大正大)
益田誌保(専大) 2(15,19) 0 鎮西みどり(大正大)

蘇 迎学(大正大) 2(20,20) 0 大亀さくら(専大)
陳 媛(大正大) 2(20,20) 0 井上 真樹(専大)

決勝

大柿柴保(専大) 2(21,18) 0 蘇 迎学(大正大)
益田誌保(専大) 2(21,18) 0 陳 媛(大正大)

(大柿・益田組は初優勝。大柿は2年連続2回目の優勝)

秋季リーグ戦…男子・立藤は5戦全勝。仲村の連勝は17でストップ 女子・3勝2敗と2勝3敗が各3校ずつの大混戦

男子1部

専修大 4 - 2 明治大
1 ○村上裕和 2(9,-17,14) 1 神 健介
2 青木和弘 0(-15,-14) 2 田崎俊雄 ○
3 野平直孝 0(-13,-15) 2 遊澤 亮 ○
4 ○村上裕和 2(13,-15,16) 1 (田崎俊雄
佐藤利明) 倉嶋洋介
5 ○増田秀文 2(16,16) 0 山本和也
6 ○立藤伸二 2(18,18) 0 倉嶋洋介
7 佐藤利明 坂巻雄一
(専修大は2季ぶり26回目の優勝)

女子1部

大正大 4 - 1 中央大
1 ○蘇 迎学 2(8,18) 0 大島 美絵
2 塩見亜矢子 0(-13,-14) 2 浜田華奈子 ○
3 ○塩見亜矢子 2(12,-19,22) 1 (浜田華奈子
鎮西みどり) 西條かおり
4 ○鎮西みどり 2(14,18) 0 加藤 美穂
5 ○鎮西ひろみ 2(9,17) 0 (村上 敏恵
福田 正美) 宮尾 ちさ
6 福田 正美 井関佳余子
7 鎮西ひろみ 村上 敏恵
(大正大は5季ぶり4回目の優勝)

入替戦

男子・筑波大(1部) 4-3 駒沢大(2部)
女子・富士短期大(1部) 4-3 日本大(2部)

平成7年度・春季

男子1部	専修大	大正大	中央大	明治大	日本体育大	早稲田大	勝敗	得失	順位
専修大		●3-4	○4-0	○4-1	○4-0	○4-1	4-1	19-6	2
大正大	○4-3		○4-1	○4-2	○4-2	○4-2	5-0	20-10	1
中央大	●0-4	●1-4		●1-4	○4-2	●1-4	1-4	7-18	5
明治大	●1-4	●2-4	○4-1		○4-0	○4-0	3-2	15-9	3
日本体育大	●0-4	●2-4	●2-4	●0-4		●3-4	0-5	7-20	6
早稲田大	●1-4	●2-4	○4-1	●0-4	○4-3		2-3	11-16	4



殊勲賞 渡辺 敬文 (大正大)
 敢闘賞 野平 直孝 (専大)
 優秀選手賞 仲村 錦治郎 (大正大)
 村上 裕和 (専大)
 遊澤 亮 (明大)
 最優秀新人賞 野平 直孝 (専大)
 遊澤 亮 (明大)

平成7年度・春季

女子1部	青山学院大	中央大	専修大	大正大	淑徳短期大	富士短期大	勝敗	得失	順位
青山学院大		●3-4	●3-4	●0-4	○4-3	○4-2	2-3	14-17	3
中央大	○4-3		●3-4	●2-4	●2-4	●2-4	1-4	13-19	6
専修大	○4-3	○4-3		○4-2	●3-4	○4-2	4-1	19-14	1
大正大	○4-0	○4-2	●2-4		○4-1	○4-0	4-1	18-7	2
淑徳短期大	●3-4	○4-2	○4-3	●1-4		●1-4	2-3	13-17	5
富士短期大	●2-4	○4-2	●2-4	●0-4	○4-1		2-3	12-15	4



殊勲賞 益田 誌保 (専大)
 敢闘賞 塩見亜矢子 (大正大)
 優秀選手賞 蘇 迎学 (大正大)
 塩見亜矢子 (大正大)
 村上 敏恵 (中大)
 最優秀新人賞 益田 誌保 (専大)

平成7年度 春季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	大正大	専修大	明治大	早稲田大	中央大	日本体育大
2部	筑波大	駒沢大	埼玉工業大	青山学院大	日本大	東洋大
3部	A 千葉商科大	国学院大	慶應義塾大	神奈川大	東京農業大	成蹊大
	B 法政大	創価大	横浜国立大	関東学院大	東京大	東京理科大
4部	A 東京電機大	埼玉大	立教大	千葉大	足利工業大	東京国際大
	B 東京経済大	帝京大	学習院大	明星大	上智大	高崎経済大
	C 独協大	日本工業大	千葉経済大	茨城大	東京都立大	東京工業大
	D 淑徳大	順天堂大	東海大	宇都宮大	明治学院大	東京学芸大
5部	A 立正大	山梨大	山梨学院大	東京薬科大	東京医歯大	
	B 文教大	横浜市立大	電気通信大	武蔵大	東京水産大	西東京科大
	C 都留文科大	群馬大	流通経済大	芝浦工業大	明治薬科大	武蔵工業大
	D 防衛大学校	千葉工業大	大東文化大	一橋大	東京農工大	(二松学舎大)
6部	A 玉川大	日工学院専	東京外語大	横浜商科大	日本獣畜大	
	B 清和大	工学院大	産能大	城西国際大	東京工芸大	成城大
	C 東京商船大	I C U	湘南工科大	東京歯科大	星薬科大	
編成外	中央工学校					

女子	1	2	3	4	5	6
1部	専修大	大正大	青山学院大	富士短期大	淑徳短期大	中央大
2部	日本大	日本体育大	筑波大	東京女体大	早稲田大	東洋大
3部	A 慶應義塾大	立教大	宇都宮大	千葉経短大	東京学芸大	(桜美林大)
	B 日本女体大	和洋女子大	埼玉大	学習院大	明治学院大	立正大
4部	A 茨城大	成蹊大	東京大	都留文科大	東京都立大	創価女短大
	B 千葉大	東京理科大	上智大	武蔵大	共立薬科大	淑徳大
	C 横浜国立大	群馬大	文教大	群馬県女大	山梨大	(日本獣畜大)
	D 創価大	東京国際大	玉川大	流通経済大	I C U	東京薬科大
5部	A 帝京大	東京家政大	明治薬科大	(東京医歯大)	(成城大)	
	B 東京外語大	東海大	星薬科大	(東京農業大)	(東京経済大)	
編成外	防衛大学校					

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム (学連登録のみ行っているチーム)
 () はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成7年度・秋季

男子1部	大正大	専修大	明治大	早稲田大	中央大	筑波大	勝	敗	得失	順位
大正大		●1-4	●2-4	○4-1	○4-1	○4-0	3	2	15-10	3
専修大	○4-1		○4-2	○4-1	○4-1	○4-3	5	0	20-8	1
明治大	○4-2	●2-4		○4-2	○4-0	○4-2	4	1	18-10	2
早稲田大	●1-4	●1-4	●2-4		○4-1	○4-3	2	3	12-16	4
中央大	●1-4	●1-4	●0-4	●1-4		○4-2	1	4	7-18	5
筑波大	●0-4	●3-4	●2-4	●3-4	●2-4		0	5	10-20	6



殊勲賞 立藤 伸二(専大)
 敢闘賞 田崎 俊雄(明大)
 優秀選手賞 立藤 伸二(専大)
 田崎 俊雄(明大)
 遊澤 亮(明大)

平成7年度・秋季

女子1部	専修大	大正大	青山学院大	富士短期大	淑徳短期大	中央大	勝	敗	得失	順位
専修大		○4-3	●3-4	○4-1	○4-3	●1-4	3	2	16-15	3
大正大	●3-4		○4-2	●3-4	○4-1	○4-1	3	2	18-12	1
青山学院大	○4-3	●2-4		○4-0	●1-4	●1-4	2	3	12-15	5
富士短期大	●1-4	○4-3	●0-4		●0-4	○4-3	2	3	9-18	6
淑徳短期大	●3-4	●1-4	○4-1	○4-0		●3-4	2	3	15-13	4
中央大	○4-1	●1-4	○4-1	●3-4	○4-3		3	2	16-13	2



殊勲賞 蘇 迎学(大正大)
 敢闘賞 浜田華奈子(中大)
 優秀選手賞 塩見亜矢子(大正大)
 大柿 柴保(専大)
 四元 静香(淑徳短大)

平成7年度 秋季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6	
1部	専修大	明治大	大正大	早稲田大	中央大	筑波大	
2部	駒沢大	青山学院大	埼玉工業大	日本大	日本体育大	法政大	
3部	A	東洋大	東京大	国学院大	神奈川大	横浜国立大	東京電機大
	B	千葉商科大	創価大	慶應義塾大	東京農業大	関東学院大	淑徳大
4部	A	日本工業大	東京経済大	東海大	千葉大	立正大	上智大
	B	順天堂大	独協大	立教大	東京都立大	東京学芸大	明星大
	C	学習院大	東京理科大	埼玉大	文教大	明治学院大	茨城大
	D	帝京大	成蹊大	千葉経済大	足利工業大	宇都宮大	高崎経済大
5部	A	東京国際大	流通経済大	武蔵工業大	東京水産大	東京薬科大	大東文化大
	B	千葉工業大	山梨学院大	武蔵大	玉川大	都留文科大	明治薬科大
	C	清和大	山梨大	防衛大学校	東京農工大	電気通信大	芝浦工業大
	D	横浜市立大	一橋大	東京工業大	東京商船大	東京医歯大	群馬大
6部	A	東京外語大	中央工学校	I C U	城西国際大	(星薬科大)	
	B	産能大	日工学院専	日本獣畜大	東京薬科大	成城大	(西東京科大)
	C	工学院大	東京工芸大	横浜商科大	湘南工科大	(二松学舎大)	

女子	1	2	3	4	5	6	
1部	大正大	中央大	専修大	淑徳短期大	青山学院大	富士短期大	
2部	日本大	日本体育大	筑波大	東京女体大	早稲田大	東洋大	
3部	A	日本女体大	創価大	埼玉大	立教大	明治学院大	(千葉経短大)
	B	慶應義塾大	和洋女子大	宇都宮大	学習院大	茨城大	東京学芸大
4部	A	千葉大	玉川大	帝京大	共立薬科大	都留文科大	(群馬大)
	B	横浜国立大	東京大	東京国際大	武蔵大	東京薬科大	山梨大
	C	成蹊大	上智大	群馬県女大	東京外語大	I C U	(桜美林大)
	D	立正大	東京理科大	東京都立大	流通経済大	文教大	淑徳大
5部	A	東京水産大	創価女短大	(東京家政大)	(東京医歯大)	(星薬科大)	(東京経済大)
	B	東海大	成城大	明治薬科大	(東京農業大)	(日本獣畜大)	
編成外	防衛大学校						

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム(学連登録のみ行っているチーム)

() はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成7年度(1995年)

第65回全日本大学対抗卓球大会 (大阪府立体育会館) …女子・14年ぶりに関東以外の優勝校。ベスト4に関東は1校のみ。

◇男子団体

準々決勝

明治大 3-1 愛知工業大
専修大 3-2 中央大
大正大 3-0 近畿大
同志社大 3-1 早稲田大

準決勝

明治大 3-1 専修大
○田崎俊雄 2(18,-18,12)1 野平直孝
○遊澤亮 2(10,15)0 村上裕和
田崎俊雄 倉嶋洋介 1(20,-20,-15)2 立藤伸二
○倉嶋洋介 2(-12,16,14)1 佐藤利明
坂巻雄一 大正大 3-2 同志社大
○仲村錦治郎 2(15,21)0 小園江慶一郎
三原孝博 0(-14,-12)2 川田貴之○
渡辺敬文 0(-21,-19)2 川田貴之○
仲村錦治郎 辻本真也○
○渡辺敬文 2(18,15)0 辻本真也
○馬場健一 2(10,11)0 大野哲郎

決勝

明治大 3-0 大正大
○田崎俊雄 2(-17,15,10)1 張仲村錦治郎
○倉嶋洋介 2(12,-14,11)1 仲村錦治郎
○田崎俊雄 2(14,-17,14)1 渡辺敬文
遊澤亮 仲村錦治郎
坂巻雄一 渡辺敬文
馬場健一
(明治大は2年ぶり8回目の優勝)
敢闘賞 田崎俊雄(明治大)

◇女子団体

準々決勝

近畿大 3-1 中央大
愛知工業大 3-0 大正大
専修大 3-0 富士短期大
中京大 3-2 龍谷大

準決勝

近畿大 3-0 愛知工業大
○岡崎恵子 2(15,9)0 寇穎麗
○謝向斌 2(10,-19,16)1 西飯由香
○岡崎恵子 2(13,-19,18)1 西飯美幸
山田真友美 西飯由香
山田真友美 富永英未
村上理枝子 西飯美幸
専修大 3-1 中京大
○大柿榮保 2(9,6)0 樋口容子
井上真樹 0(-17,-16)2 鈴木芳枝○
○大柿榮保 2(-21,14,16)1 山中百々子
益田誌保 鈴木芳枝
○久保光恵 2(16,-18,11)1 山中百々子
益田誌保 本多美紀

決勝

近畿大 3-1 専修大
岡崎恵子 0(-14,-18)2 大柿榮保○
○謝向斌 2(8,7)0 井上真樹
○岡崎恵子 2(-15,12,11)1 大柿榮保
山田真友美 益田誌保
○山田真友美 2(9,18)0 大亀さくら
村上理枝子 益田誌保
(近畿大は14年ぶり3回目の優勝)
敢闘賞 山田真友美(近畿大)

第62回全日本学生選手権大会 (愛知県体育館) …関東・4種目制覇。男子・田崎は12年ぶりの単複2冠王に輝く。

女子単は外国人留学生在が5年連続優勝。

◇男子シングルス

準々決勝

田崎俊雄(明大) 3(13,8,19)0 宮本博幸(立命館大)
戸堀敏孝(早大) 3(-15,-17,16,13)2 木村見一(大正大)
村上裕和(専大) 3(-20,17,-17,14,10)2 安藤正勝(愛工大)
増田秀文(専大) 3(16,16,-19,-19,14)2 周 暉(埼工大)

準決勝

田崎俊雄(明大) 3(11,16,14)0 戸堀敏孝(早大)
村上裕和(専大) 3(22,21,19)0 増田秀文(専大)

決勝

田崎俊雄(明大) 3(17,20,14)0 村上裕和(専大)
(田崎は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

田崎俊雄(明大) 2(13,21)0 竹谷康一(筑波大)
遊澤亮 谷口陽一
渡辺敬文(大正大) 2(13,16)0 森山倫行(近大)
仲村錦治郎 中田典秀

決勝

田崎俊雄(明大) 2(9,-17,17)1 渡辺敬文(大正大)
遊澤亮 仲村錦治郎
(田崎・遊澤組は初優勝)

◇女子シングルス

準々決勝

李 隽(淑徳短大) 3(8,10,10)0 李 泰熙(日体大)
蘇 迎学(大正大) 3(-21,20,5,12)1 米倉知子(筑波大)
塩見亜矢子(大正大) 3(-19,12,20,-21,11)2 大亀さくら(専大)
謝 向斌(近大) 3(12,-21,3,13)1 寇穎麗(愛工大)

準決勝

李 隽(淑徳短大) 3(13,18,17)0 蘇 迎学(大正大)
塩見亜矢子(大正大) 3(-15,18,9,10)1 謝 向斌(近大)

決勝

李 隽(淑徳短大) 3(10,9,18)0 塩見亜矢子(大正大)
(李は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝

大柿榮保(専大) 2(15,20)0 四元 静香(淑徳短大)
益田誌保 五味沢紀子
蘇 迎学(大正大) 2(22,18)0 李 隽(淑徳短大)
陳 媛 今井美智子

決勝

大柿榮保(専大) 2(21,17)0 蘇 迎学(大正大)
益田誌保 陳 媛
(大柿・益田組は初優勝)

第65回全日本大学対抗卓球大



インカレ優勝の明治大・男子



関東学生・全日学で女子単を連覇。圧倒的な実力を見せつけた李隽(淑徳短大)



笹川杯第3回地球ユース選手権で日本が、男子団体初優勝を飾る。



第43回世界選手権・天津大会・日本代表。日本のホープ・遊澤亮(明大)



関東学生・全日学で女子複を連覇した大柿榮保・益田誌保組(専大)。大柿は別ペアで全日本・女子複も制す。



12年ぶりの全日学単複2冠王となった田崎俊雄(明大)。インカレを含む学生3冠王